

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		昭和46年度以前		根拠法令・規程等	森林病虫害等防除法	
事業開始年度						
大項目	基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり			
中項目	基本施策	01	豊かな食を支えるまちづくり			
小項目	施策	02	林業	問	担当課(室)	農林水産課
事務事業名		03	森林普及振興事業	職・氏名	管理係長 大道健一	
				電話	0869-64-1831	

事業の実施		
対象(誰・何に対して)	森林所有者、森林利用者、地域住民	
目的(何のために)	森林の保全培養と森林生産の増進を図り、もって国土の保全と市民の安全に資することを目的とする。生活環境保全林整備及び分取造林の維持管理。	
行政活動(どのような方法で)	地域と連携を取り事業実施。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	生活環境保全林の整備と管理及び松くい虫の駆除・予防を行うことによる松林の保護が図れる。	

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	松くい虫被害木伐倒量	m	80	102	98
	松くい虫予防事業地上散布	ha	4	4	4
	生活環境保全林管理委託	ha	44	44	44
	水源林整備	ha	2	2	1
保健保安林管理委託	ha	8	8	8	
実績	直接事業費	千円	6,594	5,098	4,821
	必要人員人件費	千円	0.30人	0.40人	0.35人
	事業費	千円	8,733	8,694	7,991
	国・県支出金	千円	1038	249	417
	受益者負担金	千円			
総収入	千円				
市債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	7,695	8,445	7,574	
受益者負担比率	%				

結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	松くい虫駆除事業量	伐倒駆除量	80	102	98
結果指標② <td>結果指標</td> <td>m</td> <td>80</td> <td>102</td> <td>98</td>	結果指標	m	80	102	98
	対前年比	%	-	127.5%	96.1%
結果指標③ <td>活動コスト</td> <td>円</td> <td>1,102,500</td> <td>550,000</td> <td>530,000</td>	活動コスト	円	1,102,500	550,000	530,000
	単位当たりコスト	円	13,781	5,392	5,408
結果指標④ <td>松くい虫予防事業</td> <td>説明</td> <td colspan="3">松くい虫予防事業地上散布</td>	松くい虫予防事業	説明	松くい虫予防事業地上散布		
	結果指標	ha	4	4	4
結果指標⑤ <td>対前年比</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td>	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	580,500	467,234	452,860
結果指標⑥ <td>単位当たりコスト</td> <td>円</td> <td>145,125</td> <td>116,809</td> <td>113,215</td>	単位当たりコスト	円	145,125	116,809	113,215

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
	目標値(A)	80	80	80	80
	実績値(B)	80	102		到達目標年度
達成率(B/A)		100.0%	127.5%	0.0%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
駆除量/事業費					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価				
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E>	C
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明 地元から事業実施に当たり補助金要望がある	判定理由・課題認識	保全すべき松林を定め、予防事業及び松くい虫被害木伐倒事業を行っていく必要がある。
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>	C
	手	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識	早期に駆除し、被害の削減の努力をしている。
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E>	C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識	5~6年前に比べると、松くい虫の被害は減少し、目標は達成されつつある。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②			成果指標量	
		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
状況			○			
説明	風倒木の原因となる被害木を除去することにより、山林を保護することが出来る。また、予防事業を行うことにより被害の拡大を防ぐことが出来る。					

総合評価		
松くい虫被害は一時的に静化していたが、拡大の傾向が見られるため、継続していく必要がある。	評価区分<A~E>	C

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
状況		○				
説明	今後とも継続していくこととするが、時期をみて予防事業(地上散布)のあり方を見直す必要がある。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		